

救急車中での分娩方法を学ぶ

北後志消防組合積丹支署(俵谷支署長・署員17名)では、昨年11月に小樽協会病院で行われた「周産期医療講習会」に2名の救急救命士を派遣し、周産期医療についての知識や実技を学びました。



▲新生児の分娩介助

1月28日には、同支署で全職員への周産期医療伝達訓練

を行いました。

周産期とは、出産前後の期間の主に妊婦さんの出産に係わることを言い、訓練では、妊婦さんや赤ちゃんについての基礎知識を学び、実技では緊急的に出産が必要になった場合の分娩方法や赤ちゃんの観察方法、蘇生法を行いました。

救急車には、緊急的に赤ちゃんを産むための機器があり、出産が切迫している場合のみ、車内で出産させることができます。通常の救急搬送の場合、急病やケガをしてしまった方が圧倒的に多く、過去20年の車内出産例は2件と非常に少ないため、隊員たちは万が一を想定しながら、真剣に訓練に励んでいました。

入舸町で防災講習

教育委員会が主催する「入舸地区成人学級」が2月8日、入舸会館で行われ、4名の隊員が災害発生時の備えなどを入舸町の皆さんに伝えました。

今年で2回目となった防災講習会では、各地区の避難マニュアルを使用し、冬の地震・津波発生時の避難行動や災害時の備えについて、「どこに避難したらいいのか？」を入舸町の立地の特性と合わせて参加者と一緒に考え、いつ発生するかわからない災害への備えの大切さを説明しました。

また、気温の変化により発生するヒートショック予防や熱中症対策についての講習も行いました。

ヒートショックとは、室内の大きな温度変化が原因となつて、血圧が急激に上下することで心筋梗塞などの疾患を引き起こすことです。その予防として、現在使用している部屋(居間など)とこれから使用する部屋(風呂場など)

の温度差をなくすことで血圧の変動を抑えることができること、また熱中症対策では、水分と塩分の補給をしつかり行うことの重要性や熱中症の対処法を説明しました。

積丹支署では、防災講習や消火器体験、救命講習などに職員派遣を行っていますので、お気軽にご相談してください。

第1回町議会臨時会
議会ニュース

平成31年第1回町議会臨時会が2月19日に招集され、報告1件、議案2件が審議され、同日閉会しました。

報告第1号
専決処分承認を求める件について

北海道市町村総合事務組合から、「組合規約の制定並びに廃止について」の協議があり、専決処分したので報告し承認を求めるもの

(報告)

議案第1号

平成30年度積丹町一般会計補正予算(第7号)

町道等除排雪業務委託料など1,680万円を追加し、29億7,222万6千円にするもの。

(原案可決)

議案第2号

平成30年度積丹町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

野塚地区水道管漏水対策費180万円を追加し、2億7,906万3千円にするもの。

(原案可決)



▲講習会に参加した入舸町の皆さん